

ブリッジ — 地域と県政を結ぶ架け橋 —

中塚周一県政ジャーナル

BRIDGE



2015.2

発行 中塚周一事務所
〒713-8125 倉敷市玉島勇崎930
TEL 086-528-0319
<http://shuchan.com/>
印刷 株式会社玉島活版所

第8号

次代の
扉をひらく!

岡山の未来を
創るために
走り続けます



Next Generation

中塚周一

ごあいさつ

2015年を迎え、皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年は、4月に県議会議員の改選期を控えております。2期目の4年間には県議会で、防災・環境対策・新エネルギー特別委員会、環境文化保健福祉委員会、土木委員会などの委員長という責任ある職を担わせていただくことができました。

いずれも、私の県政活動の柱として特に重要視している「防災対策」「保健福祉政策」「水島コンビナート等の環境整備に関わる港湾や地域のインフラ整備」などの施策を所管している委員会です。

また、党の役職においても社会福祉関係振興議員連盟の事務局長、青年局次長、選挙対策委員などを務めさせていただき、医療福祉関係の現場の方々の意見交換の場を設けたり、国政・首長選挙などにおける政策検討などに携わらせていただきました。

県議会議員として期数年数を重ねるにつれて、仕事の幅の広がりや関わりも深くなっていると感じています。

さて、これからの岡山県・地方のあり方を考える上でのキーワードは、課題は「少子化と超高齢社会の到来」、政策は「地方創生」といえるでしょう。

少子化により人口減少や生産人口（働き手）が急減しており、地方においては顕著です。さらに本年（2015年）には、団塊世代が65歳以上となり、今後、10年後（2025年）には、介護を必要とする高齢者も急増することが見込まれています。この課題に対応するためには、働く場所があり、安心して暮らせる地域環境の整備を進めていくことと、介護予防をさらに進め健康寿命を延ばすことが大切です。

岡山県には、他県よりも優れた医療福祉環境があります。また、交通インフラや水島コンビナート（玉島ハーバーアイランド）をはじめとした企業に優位な環境もあります。これらの優位性を官・民が一体となって活かし、「私たちの地域は、私たちが創り上げていく」「地方から日本を元気にしていく」という気概をもって「地方創生」を成し遂げていくべきと考えます。

これからも地域の皆様の声を聴き、現場を見て、活動の幅をさらに広げ県勢発展のために働かせていただきたいと決意を新たにしておりますので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

岡山県議会議員 中塚 周一

ふるさとを愛し、次代を担うひとづくり

学力の向上と次世代を担う人づくりは急務の課題

岡山県の学力の向上と次世代を担う人づくりは急務の課題です。学校教育はもちろんのこと、乳幼児期からしっかりと愛情を注ぎ、学ぶ姿勢の土台作りをしていく必要があります。人間形成には、ふるさとを愛し、関心・感動・感謝の気持ちを育むことが大切であり、それにより意欲が醸成され、学力の向上と次世代を担う人へと成長することにつながると考えます。

岡山県においても、教育の本来の目的は人づくりにあり、「知」「徳」「体」を兼ね備え、将来の夢や目標に向かい取り組み、郷土や社会の発展に貢献できる人材の育成に努めることとしており、「晴れの国おかやま生き活きプラン」には、教育県岡山の復活を重点施策の第一に位置づけ、学力向上プログラムと德育推進プログラムの二本柱で取り組みを進めています。

その推進には、学校、家庭、地域、それぞれの場での役割と取り組み、さらには相互連携を深めていく必要があります。これまでも各学校、地域において、有効な取り組みをしているところもあり、そういったものを参考にし取り込んでいくことで目的達成へとつなげていくのです。

子ども応援学力向上対策等特別委員会 視察

学力向上対策に取り組む自治体教育委員会などを訪問



学力向上に成果のあった自治体を訪問し、その取り組みについて伺う。教育委員会が先導役となって動き、学校現場に頻回と足を運び課題に取り組むことで成果が出てきたという話が印象的であった。

認定子ども園視察



平成27年4月より子ども子育て支援新制度が導入されることとなり、これまでの幼稚園と保育園の機能を併せた「子ども園」が地域の実状等を勘案されながら整備が推進されていきます。認定子ども園として、既に運営されている現場の状況など見聞し、子供の健全育成に向けてどのような形がよいのか参考にしていきます。

ICT教育授業に取り組む学校



ICT教育とは、電子黒板や学習者用パソコン等を活用した教育のことで、一人ひとりとの双方向、あるいは全員で情報を共有しながら分かりやすい授業が実施できることや、これからの国際社会で必須となる情報活用能力の向上などの効果が期待できます。また、大規模災害や新型インフルエンザの発生時や不登校など通常の学校や教室での学習が困難な場合の学習の保障にも活用することが期待できるほか、特別支援教育など児童生徒の機能障害を補うことにも大きく役立つのではないのでしょうか。



下関ふくふく子ども館

「次代を担う子どもたちを多世代で育む」を基本コンセプトとした市民の交流と子育て支援の拠点として整備された施設です。



なくそう無駄、つくろつ次代の明るい岡山県

平成26年11月定例岡山県議会

「地方創生への取り組み」について
知事と一問一答

昨年11月、地方創生の理念等を定めた「まち・ひと・しごと創生法案」と、活性化に取り組む地方自治体を国が一体的に支援する「地域再生法の一部を改正する法律案」の地方創生関連2法案が国において可決・成立しました。

世界に例の無い「人口減少・超高齢社会」という「待ったなし」の問題の打開に向けて地方創生を成し遂げていかなければなりません。この地方創生においては、「地方が自ら考え、責任を持って取り組むことが重要である。」とされており、都道府県と市町村には、地域の特性を踏まえた地方版の人口ビジョンと総合戦略の策定をすることが求められています。

このことに関連して、岡山県においても他県に遅れをとることなく、我が県の持つ特色や優位性を引き伸ばし、課題解決を速やかに実行する気概を示し、地方創生の責任を果たしていくべきであり、どのような体制をもって、どのように進めていくのが次代の岡山

県を創生していく上において大切である、と議会で質問しました。

このことについて知事からは、「国に対して、地域再生法による提案制度の活用を含め、地方の自主的な取組を後押しする支援措置の創設等を働きかけながら、私をトップとする全庁的な体制の下、今後策定する総合戦略に基づく施策の推進にしっかりと取り組んでいく。各分野で深掘りしなければならぬのであれば、プロジェクトチームを立ち上げるなど積極的に取り組んでいきたい。」との答えをいただいた。

人口急減・超高齢化というピンチをチャンスに変える。今後、国と地方が総力を挙げて地方創生を推進し、国民（県民）の意識が変わっていかば、活力ある日本社会に向けて未来が開かれていくでしょう。次代の明るい岡山県をつくっていくためにも、一生懸命に取り組んでまいります。



「瀬戸内の海」をもっと豊かに！



岡山県では、水産振興プランに基づき「豊かな海の恵みで地域を支える漁業」と「県民の豊かな食を支える漁業」の確立を目標に様々な施策に取り組んでいます。施策を推進していくには、「岡山の海と川の豊かな恵みを回復させる」ことをはじめ「県民に美味しい地魚を安定的に供給することや「自立した漁業者を育成し経営の安定化を図る」ことが重要です。

魚介類の【生息環境の保全】⇒【増殖・維持管理と育成】⇒【収穫と販売】⇒【消費】というサイクルが健全に回る環境整備を推進していきます。

「農」の魅力発信！



おかやまを代表する農作物として、桃やぶどうなどが挙げられます。それらの評判は、都市圏をはじめとして高いものがあります。私もアジアの11ヶ国の駐日大使らが岡山県を訪問した際に、瀬戸内海をクルーズする船上でシャインマスカットやオーロラブラックなどを大使らに試食していただきましたが大変好評でした。

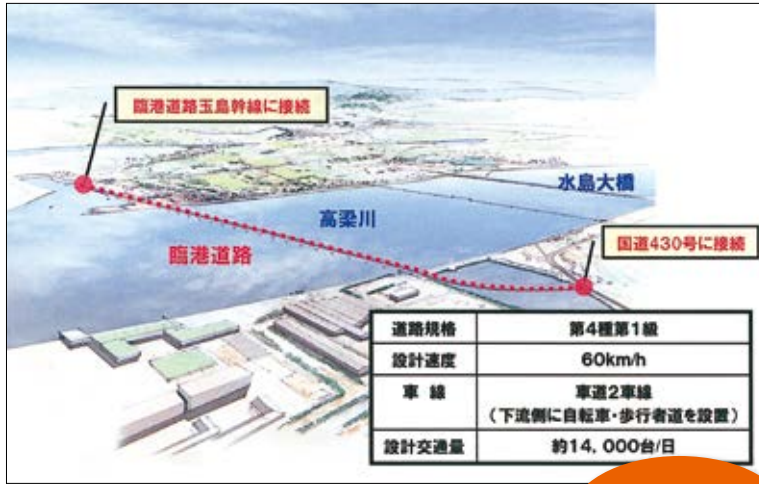
県においても、その競争力をしっかりと高めていき、販路を拡大していくことが進められています。これまでも「めざせJ1!園芸作物ステップアップ事業」などにより、桃（おかやま夢白桃など）やぶどう（シャインマスカット、オーロラブラックなど）等の栽培施設などの環境整備を進めてきています。

今後も栽培や選果など、品質保持や向上に向けた環境整備を進めブランド力を高めていく必要があります。また、稲作をはじめとする農作物についてもブランドの発信や販路の確保などにより、農の持続性を地域で維持していく必要があると考えています。

魅力ある農林水産業へ

たくましい産業の育成

Q 平成26年11月定例岡山県議会
「地方創生と地域の基幹産業の強化」について質問



▲高梁川新橋梁（水島港臨港道路）整備について

平成28年度
完成予定

玉島ハーバーアイランド

「地域経済創生の
核としての発展を期待」



▲マリンタワー建設

地方創生には、地域の雇用と所得を維持・創出する基幹産業の強化への取り組みが重要です。
水島港においては、国際バルク戦略港湾の選定や水島コンビナートが総合特区の指定を受けるなど、その動きが注目される中、玉

島ハーバーアイランドにおいては、6号埠頭に水深12m耐震岸壁や新バースの整備、平成25年には玉島西航路が拡幅、平成26年度内には6号埠頭にコンテナ荷役にかかる事業者の事務所や港湾労働者の休憩所などが入るマリンタワー

の完成を目指して建設が進められています。また、高梁川新橋梁も平成28年度の完成を目指し建設推進をするなど、ハード整備がされてきています。
玉島ハーバーアイランドでは、完成車の積み降ろしが増加してお

り、毎日、多くの港湾労働者が作業をされていますが、夏の炎天下、冬の厳しい寒さのもとでもトイレや休憩施設も十分ではありません。地域の基幹産業を守り、さらに強化していくという観点から完成自動車を扱う4号埠頭にも事務所や休憩所の機能を備えた施設を整備すべきであることを指摘しており、知事からは「玉島ハーバーアイランド、水島地区という



▲土木委員会視察「港湾整備・バルク戦略港湾」

岡山県の産業にとっても非常に大事な場所であり、水島、玉島の重要性というものは大変痛感しているところであり、現在、事業所、休憩所が4号ふ頭にあるけれども、十分な状態ではなく、なんらかのことはしないといけない。」「4号埠頭への施設整備について、その必要性が高まっていると認識しており、施設の整備時期や整備手法等について検討してまいりたい。」と答弁をいただいた。

玉島ハーバーアイランドへは、日本エアロフォーシやJ-A関連3社など大型の企業立地もされるなど、今後の地域経済への波及も期待されており、ハーバーアイランドが地域経済創生の核として発展されるよう企業誘致や必要なハー

ド整備を進めていきたいと考えています。あわせて、既存企業や地場産業との共存と共栄も並行的に考え対応していく必要もあります。例えば、航路の問題です。現在でも物流が高まっていることで海上を行き交う船舶も増加傾向にあり、海上の安全性の向上や各企業・産業の操業に支障が出ないように対処していく必要もあるでしょう。岡山県の平成27年度予算案には、そうした海上航路のルール策定に関するものも計上されています。

このように、地域の産業強化に向けて、現場の状況をしっかりと把握することに努め、あらゆる方面に目を向けて対応していきたいと考えています。

無理なく生活できる医療福祉社会の実現

平成26年11月定例岡山県議会

「地域包括ケアシステムの構築状況と新しい総合事業への対応」について

質問 2025年を目途に、要介護状態となつても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築の実現が目指されています。このシステム構築の大きな特徴とされているのが、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくこととされているところですが、システムの構築に待ったなしの状況となつてきています。これまでの地域包括ケアシステムの構築状況についての認識と課題をお聞かせします。

住民への啓発や高齢者を支える新たな担い手の育成などを積極的に行ってまいりたい。

「新しい総合事業への転換と県の役割」について

質問 新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」が来年4月から平成29年4月までの間にスタートします。新総合事業は「市町村が中心となつて、地域の実状に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実すること、地域の支えあい体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすること」を目的としています。

先ほど話題にした地域包括ケアシステムの構築においても、いかに要介護状態にならないようにするかが、今後の生き活きとした暮らしの持続と社会保障関係費がでるだけ膨らまないようにするためには重要であると考えます。

一方で、これまでの制度体系が変わるとともに、実施主体や財源



管理が市町村となることから、市町村としては、制度の転換にかかると事務作業や財源などについて、かなりの戸惑いもあるのではないかと推察します。また、事業者にとつても制度への対応のために準備をしなければなりません。ただ不透明な部分も多いのが事実です。

事業が円滑、効果的に推進されるよう、どのような計画と体制をもつて取り組んでいけるのでしょうか。

答弁 市町村に対しては、サービスの量・質の低下や地域間

子ども応援学力向上対策等特別委員会視察



発達障害児者施設

発達障害がある人は、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手で、その行動や態度は「自分勝手」とか「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。これは、親のしつけや教育の問題ではありません。まずは、脳機能の障害によるものと理解し、障害の種類や程度、年齢や性格などによって一人一人の特徴に応じて配慮したり、支援していくことが重要です。

発達障害者支援の特徴的な施策を実施している行政や発達障害がある人を支える施設を視察し、現場の声を直接聞き、岡山県においての施策に役立てていきます。

「自民党社会福祉関係振興議員連盟事務局長として、陳情、請願や国に対する意見書提出の議決に奔走」

(例)

「介護福祉士修学資金貸付制度の拡充並びに介護福祉士養成にかかわる離職者訓練(委託訓練)制度の継続実施に関することについて」

「介護報酬削減の絶対阻止と処遇改善の拡充について」

「子ども・子育て新システムの導入について、財源的な見通しや保護者、保育現場等の意見を十分尊重し慎重に検討することや「安心子ども基金」の拡充等、保育の充実に向けた地方の創意工夫が生かされる予算編成を行うこと」



▲保育園の子ども達と

土木委員会での視察「防災対策」



▲土木委員会県内視察 海岸保全(高潮対策)事業

海岸保全事業

特に私たちの住む地域には、海に面していることや河川がいくつもあることから堤防のかさ上げや耐震性を強化することが重要であると考えます。



▲土木委員会県内視察 災害防除事業

質問 財源については、国が示している予算上限の範囲で介護予防等を行っていくとのことだ

格差が生じることなく、事業が円滑に実施できるよう説明会の開催や、先進的な取組事例の紹介などの支援、助言を行っております。市町村の指定や委託により、サービスの担い手となる事業者の団体に対しては、円滑な事業実施に向け、情報提供を行うなどの支援を行っているところです。今後も各市町村の進捗状況を定期的に把握し、必要な助言や支援に努めてまいります。

入れていることも検討していきたい。

答弁

多様な生活支援のニーズに対し、多様な担い手による

が、財源が乏しい自治体では保険料を上げたくないという思いもあり、予算を抑えることも予想される。都市部と地方、あるいは既に介護サービス量が多い市町村とそうでない市町村の間で、相当な格差が出るのではないかと懸念もされるがいかがか。

あんぜん安心なまちづくり

まちの安全確保へ「防災対策」

本年、あの阪神淡路大震災から20年が経過しました。東北地方を津波が襲った東日本大震災からは4年が経過しましたが、復興は未だ道半ばです。昨年は、広島において大規模な土砂災害が発生しました。また、私たちの地域では、平成16年の台風・高潮の災害が発生し、その時のことを忘れることはできません。自然災害の脅威をたびあるごとに感じる方も多いのではないのでしょうか。

様々な防災対策を講じてきました。今後も、その対策を進めていかなければなりません。しかし、防災対策は地形や現存構造物の状況等によって一朝一夕にはいかないとあります。それぞれの対策方法が異なってくるのです。私も視察した内容やそれぞれの地域のもつ状況により何が活かせるのか、何をすべきなのかを分析していく必要性があると感じており、その活動を通じて、できるだけ迅速に対策にあたっていきたいと考えています。

災害防除事業

山間地の多い県土においては、土砂災害の防災機能の強化も重要です。



2014 年											
1 月			2 月								
15 日	27 日	28 日	4 日	7 日	12 日	13 日	14 日	17 日	20 日	25 日	28 日
総務委員会・自民党選挙区定数問題検討委員会	総務委員会	子ども応援学力向上対策等特別委員会・自民党選挙区定数問題検討委員会、自民党看護議員連盟・岡山県看護連盟懇談会	総務委員会・自民党選挙区定数問題検討委員会	予算総括協議会・自民党選挙区定数問題検討委員会	自民党青年局中央研修会	→	総務委員会・自民党県議団総会	子ども応援学力向上対策等特別委員会	総務委員会	岡山県議会2月定例会・総務委員会	岡山県議会地域公共政策セミナー



▲靖国神社参拝（自民党青年局中央研修）

A group of five people, four men and one woman, are standing behind a long, curved podium with a yellow and brown patterned front. They are in a room with large windows and floral arrangements on the podium.

▲TV番組OHK「岡山県議会ナビ」に出演



次代の
扉をひらく！

(Open The Next Generation)

次世代のリーダーとして活躍するために必要なスキルを身につけ、
社会で活躍するための準備をしましょう。

次世代のリーダーとして活躍するために必要なスキルを身につけ、
社会で活躍するための準備をしましょう。

次世代のリーダーとして活躍するために必要なスキルを身につけ、
社会で活躍するための準備をしましょう。



<http://shuchan.com/>